

增補
頭書

寶語教書字教

全

同四家子之文章	年中書札之式	五行相生相剋	偏窮構盡	彌子瑕之圖	私法大師四寶錄
書法之傳大要	言札上書之式	骨中段之解	各頭字善惡	萃集忠信之意	同八割之圖式



彌子瑕
 彌子瑕者魯之嬖人也其母死
 彌子瑕獨不哭而食其母之車
 曰吾母死而不可食也
 吾母死而不可食也
 吾母死而不可食也
 吾母死而不可食也
 吾母死而不可食也



孝弟忠信の意

○孝は父母事
 と尊ぶこと孝ありて
 孝れざるべしとて母
 の志とすこととす
 口体とすこととす
 孟子の孝の意あり
 のやとのり可ありと
 つるのいふをたを
 或初まれ人けまれの
 又母事終てくは先
 には母の死を母の死
 長の喪事疾痛許度
 と同てまをことと
 一備はとてはの

實格教

山為故不貴 以有樹為貴

命在事貴 以有樹為貴

富貴生財 以有樹為貴

智毛及財 以有樹為貴

元曜文庫

父母の長五人に
是の如くは
是の如くは
是の如くは

〇第一は兄弟
已が兄の如く
已が兄の如く

武不磨是光 年光如石
命理是智 聖智為是
命理是智 命理是智
命理是智 命理是智
命理是智 命理是智

財物未形 命理是智
命理是智 命理是智
命理是智 命理是智
命理是智 命理是智
命理是智 命理是智

日比五横うくくろ
 て足身むろくまね
 ありしれとらり
 新朝をけりり
 万れども経籍のころ
 しくゆしくねまの
 運板と教りれり
 國小藩序あり
 足身又人のみ
 されりし殿の程
 ことゆくもゆく
 情むくもゆく
 ○忠己とゆく
 毛かたしとゆく
 まゆくもゆく
 ことゆくもゆく

忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく

日比五横うくくろ
 て足身むろくまね
 ありしれとらり
 新朝をけりり
 万れども経籍のころ
 しくゆしくねまの
 運板と教りれり
 國小藩序あり
 足身又人のみ
 されりし殿の程
 ことゆくもゆく
 情むくもゆく
 ○忠己とゆく
 毛かたしとゆく
 まゆくもゆく
 ことゆくもゆく

忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく
忠己とゆく	毛かたしとゆく	まゆくもゆく	ことゆくもゆく

大福懐

とて懐たに懐あり
水の如きは花を
多分はみればか
君の如きは君を
わづらひては君の
肺を如きは君の
あまじき
古縁
ふらふはみ
のまくりい
これを懐
まゝに懐
石を如きは君を
わづらひては君の
まゝに懐
まゝに懐

欲達とて是
見徳人の愁
聞は人真
見善も法
好敬者好福

夫今達人
肝自是也
則自是也
見善も法
好敬者好福

大福懐

此の如く懐たは
二年と月と日と時とを
いふやててを
入するころ
又その如く懐たは
これにまつまの如く
入するころ
たつと入るころ
たつと入るころ
たつと入るころ
たつと入るころ
たつと入るころ
たつと入るころ

無量劫の業
殊貴の業
夫難の業
不義の業
保身之法
保身之法
保身之法
保身之法
保身之法
保身之法
保身之法
保身之法

神八三〇元二三

○乾一三三 ○坎六三
 ○艮七三三 ○震四三三
 ○巽五三三 ○坤六三三
 てそわらふことごと
 ことごとくはほそく
 らふことごとくはほ
 えりのふわつてお
 若山のふつてお
 ちふふ 又おん
 まつらんめことごと
 若山のふつてお
 ことごとくはほそく
 ことごとくはほそく
 ことごとくはほそく
 ておんめことごとく
 ことごとくはほそく
 ことごとくはほそく

故世代昔者 七事集聖
 元世同始 身終勿忘
 其治世終

書子教

書貴人書店 於學不得五

乾一	兌二	離三	震四	巽五	坎六	坤七
☰	☱	☲	☳	☴	☵	☷
得物	待入	出行	生子	男子	女子	無事
上	上	上	上	上	上	上

遇道難逢 有難難收
 女事滿胸 慎不顧左右
 商賈不吝 有仙不認
 寶貴盡耗 神明以再
 會成一律 財者不取
 遠東時則慎 近時則下

三	二	一	生	月	神	方	方	方	方
三	二	一	生	月	神	方	方	方	方
三	二	一	生	月	神	方	方	方	方
三	二	一	生	月	神	方	方	方	方

向... 塔... 本... 行... 佛...
 人... 佛... 者... 朝... 廷... 法...
 人... 每... 院... 中... 法... 道...
 交... 亮... 不... 難... 言... 事... 事... 速... 趨...
 觸... 筆... 之... 速... 精... 神... 廣... 度... 凡... 得... 離...

生	物	生	物	生	物	生	物	生	物
生	物	生	物	生	物	生	物	生	物
生	物	生	物	生	物	生	物	生	物
生	物	生	物	生	物	生	物	生	物

法... 多... 者... 事... 少... 老... 幼... 皆... 友...
 悔... 忘... 善... 念... 當... 祈... 極... 贊... 業...
 南... 無... 方... 寶... 覺... 聖... 聖... 如... 入... 火...
 能... 者... 亦... 甚... 多... 亦... 甚... 多... 亦... 甚... 多...
 人... 身... 之... 難... 矣... 密... 易... 功... 德... 甚...
 人... 眼... 之... 難... 矣... 隨... 勿... 犯... 用...

禮人	○	巽五	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	坎六	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	艮七	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	坤八	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

東忍守堪 遊約百里路
 人忍守古 收損女身
 是福之門 官老福之根
 使忍守去 終身教業
 這書一書者 罵進不返者
 白星珠之塵 惡言不難處

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

禍福老業門 唯人在此拓
 天作地之也 自從步離逃
 不積世家 必有餘慶美
 未好惠之虛 必有餘缺美
 人自有法德 必有功報美
 人自有法功 必有照名美

失物	色	輕重	ね色	阿比	北	方角	強弱	肥瘦	長短	痛痒	男女
	色		色	色	色		色		色		色
	色		色	色	色		色		色		色
	色		色	色	色		色		色		色

傍心空園門 萬物皆有情
 空手執杖杖 福地月增光
 空手同空面 坐忘如蓮葉
 不現他身身 露地人馬
 華車之空處 法華之空處
 華車之空處 法華之空處

見物	生死	物色	白	黑	赤	青	黃	紫	綠	紅	藍
見物	生死	物色	白	黑	赤	青	黃	紫	綠	紅	藍
見物	生死	物色	白	黑	赤	青	黃	紫	綠	紅	藍
見物	生死	物色	白	黑	赤	青	黃	紫	綠	紅	藍

昔在空流 種種攝受
 今在空處 處處覺度
 法園空實 勿侮羅漢
 香手不空 則成似空
 入境而回禁 入園而回空
 入鄉而隨鄉 入俗而隨俗

相生	五行	相	形	形	形	形	形
名	義	義	義	義	義	義	義
義	義	義	義	義	義	義	義
義	義	義	義	義	義	義	義

入心先四辭 為教之主也
 君臣父子 必可致遠矣
 思者長遠 必可致遠矣
 如用管窺天 備針指地
 神明得鬼 兆數為念
 神而打身 此要為念
 此要為念

仁者德治
 重利忠守
 二六右長
 仲貞棟
 行大固
 岩多良
 在仁字之字
 在仁字之字
 在仁字之字
 在仁字之字

生者仁者 習性成德
 貴者必重 軍者必重
 雖富必重 是名者必重
 治者必重 是名者必重
 師者必重 是名者必重
 師者必重 是名者必重
 師者必重 是名者必重

松市熱松 坊信徳 津新 二六
右の字もあまの
わくるまの字も大性の
人存てよーま性の人
はひてはまをわ
市信 吹 新
熱信 新 新
松坊 津 二

高島中々若 除所所地獄
娘言身子言 師身身佛果
不願取身言 果亦返父母
不取者獲免 成怒怒教聖書
願身人遊 蝶大和也程
馴善人羅 大船遊海

四七 七 十 七
助信 信 正 五 五
半辰 乙 正 五
丹庸 初 五 五
右の字もあまの
余の字もあまの
水性の人をさす
ま性の人をもさす
半まのり

四願普度去 如麻律達量
觀近西愛生 如教中前由
離世有餘師 寫戒書書業業
得性法名純 好月以學位
一日學一字 三百六十字
一字當千金 一息助他生

氣鬱一和
歸恒性

古の字を以て
訓あり今性の人
て百の字を以て
性の人を以て
ありと云ふ
性の人を以て
性の人を以て
性の人を以て
性の人を以て
性の人を以て

一日師不疎
以及來師年

師者二重
祖上一世

年子五七人
所教者

親者為師者
室冠裁

母為親者
顯載父母

室親納身
胡果配

偏正攝等字盡

偏	正	攝	等	字	盡
一	二	三	四	五	六
七	八	九	十	十一	十二
十三	十四	十五	十六	十七	十八
十九	二十	二十一	二十二	二十三	二十四
二十五	二十六	二十七	二十八	二十九	三十
三十一	三十二	三十三	三十四	三十五	三十六
三十七	三十八	三十九	四十	四十一	四十二
四十三	四十四	四十五	四十六	四十七	四十八
四十九	五十	五十一	五十二	五十三	五十四
五十五	五十六	五十七	五十八	五十九	六十
六十一	六十二	六十三	六十四	六十五	六十六
六十七	六十八	六十九	七十	七十一	七十二
七十三	七十四	七十五	七十六	七十七	七十八
七十九	八十	八十一	八十二	八十三	八十四
八十五	八十六	八十七	八十八	八十九	九十
九十一	九十二	九十三	九十四	九十五	九十六
九十七	九十八	九十九	一百		

持意通經卷
各應釋

靜性業經
卷下意

靜深編經
卷下意

靜深編經
卷下意

靜深編經
卷下意

靜深編經
卷下意

前	石	糸	日	心	水	火	木	金	土	麻
解	牛	山	田	走	走	走	走	走	走	走
戶	美	口	力	走	走	走	走	走	走	走
大	物	戶	馬	車	車	車	車	車	車	車

道長傳業
 漢增自眠
 安丹新舊
 匡衡為夜學
 聚善存賢
 誦歌為集文
 因戶不道
 積業為業文
 惟利取贏
 債教為業文
 德書賴成
 車風好收業

走	走	走	走	走	走	走	走	走	走	走
走	走	走	走	走	走	走	走	走	走	走
走	走	走	走	走	走	走	走	走	走	走
走	走	走	走	走	走	走	走	走	走	走

聚善為業
 實業為業
 積業為業
 德業為業
 不和冠衣
 高風入意
 正和善業
 別業為業
 腰帶不捨
 世業為人

曆代中服の事

○ころもへ天のなる
そしする日なるころも
とまた体とましく
けしらす家とつら
らるらあひし
るとゆきて大なる
ちかうむむむむむ
とととととととととと
とととととととととと
とととととととととと
とととととととととと

皇夜好景支 文律由國家
遠近順皇後 維摩靈臺倚
眉目經綸 新宮引終矣
腰背採女書 張儀伯斬古
作及森萬變 鬼老靈海記
古青海書費 伯英の蔵物

○ころもへ天のなる
そしする日なるころも
とまた体とましく
けしらす家とつら
らるらあひし
るとゆきて大なる
ちかうむむむむむ
とととととととととと
とととととととととと
とととととととととと
とととととととととと

果河精古夜 事更古牛初
好景靈師傳 贊者能古者
靈言靈靈之爾 靈言靈言之位
靈言靈言之位 靈言靈言之位
靈言靈言之位 靈言靈言之位
靈言靈言之位 靈言靈言之位
靈言靈言之位 靈言靈言之位

あつひさる日あり
きんまうまをり
るとうきり
并んそら
ふれり
ひさる日あり
あつひさる日あり
きんまうまをり
るとうきり
并んそら
ふれり

牛の種地獄
菊島松枝
北野麻指草
馬鹿草身
靈蛇草身
松葉金全
日然の金取

戴恩不疑
象徳百徳
面皮打金
推演馬身
郭良馬養母
美詩女自婦
五家心身申

○飛馬
○たのしみ
○かみ
○かみ
○かみ
○かみ
○かみ
○かみ
○かみ
○かみ

松葉草指草
靈蛇草身
松葉金全
日然の金取
日然の金取
日然の金取
日然の金取
日然の金取

主祥歌叩求
舞子草身
刑楽草身
萱草草身
揚威金福母
顔島草身
汗牧月化草

天祖とて...
 日中...
 十二月...
 改...
 新...
 年...
 正月

松柏植作墓
 父母終老養
 初...
 早...
 速...
 會...
 事...

此...
 佛...
 生...
 煩...
 戲...
 忍...
 壽...

上巳...
 過...
 臘...
 七...
 中...
 重...
 言...
 返...
 者...
 歲...
 受...
 其...
 其...

胡... 身...
 隨... 結...
 全... 黃...
 只... 害...
 史... 官...
 唯... 政...
 桑... 重...

壹

廿七

棚田の形

對一かゝるく目入
對二かゝるく目入
對三かゝるく目入
對四かゝるく目入
對五かゝるく目入
對六かゝるく目入
對七かゝるく目入
對八かゝるく目入
對九かゝるく目入
對十かゝるく目入

美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形
美入の形

身體を穢濁 如切摩訶
歡喜の心を 慈愛の心を
樂み白力苦 須達之千徳
世間の心を 阿方之七寶
富貴の心を 月之邊月威
彼博施の便 離苦投財力
彼打獄車杖 人む云初施

同書の中一冊

右の如く片苗

用下の考

左の如く片苗

右の如く片苗

左の如く片苗

右の如く片苗

左の如く片苗

布衣の業 凡人最に穢
財宝の業 凡人最に穢
可布衣の業 凡人最に穢
可生隨喜心 凡人最に穢
功德の業 凡人最に穢
得報の業 凡人最に穢
早研黄金 凡人最に穢
物に供養 凡人最に穢

多くハ従義ヲ用ユ
キ方ハ...

○十二時の名
子 丑 寅 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

○夜那の名
三月 上弦 七月 下弦
一月 望月 六月 朔月
二月 上弦 五月 下弦
三月 望月 四月 朔月

速信蓮華及一向信力
和将福を位 軍備國江
勝平由身實 上須求佛道
中可却買息 心編及心道
共の求佛及 為佛の如童
解因果道理 密典外典
見者勿能信 同者不生笑

正月	三日	十一日	正月 三日
二月	六日	十四日	二月 六日
三月	九日	十七日	三月 九日
四月	十二日	二十日	四月 十二日
五月	十五日	廿三日	五月 十五日
六月	十八日	廿六日	六月 十八日
七月	廿一日	廿九日	七月 廿一日
八月	廿四日	三十一日	八月 廿四日
九月	廿七日		九月 廿七日
十月	三十日		十月 三十日
十一月			十一月
十二月			十二月

帝室教育

教 少年老易難成學
訓 一寸光陰不可輕
七 未覺智道春艸夢
絶 楷前五葉已秋聲

于昔文化九年壬申歲次發行

地本問屋 御江戸芝神明前 因田屋嘉七 和泉屋市兵衛 版

岡谷町

下
乃
界

徳
政

志
考